

## 日本史

日本史の問題は、【1】から【4】までである。

【1】 次の①～⑤の平安時代の史料を読んで、下の問いに答えよ。

- ① やまとうたは、ひとのころをたねとして、よろづの言の葉とぞなれりける。世の中にある人、ことわ<sup>ア</sup>ざしげきものなれば、心におもふことを、見るものきくものにつけて、いひいだせるなり。
- ② 雪のいと高う降りたるを、例ならず御格子<sup>みこうし</sup>まゐりて、炭櫃<sup>すびつ</sup>に火おこして、物語などしてあつまりさぶらふに、「少納言よ。香炉峰<sup>こうろほう</sup>の雪いかならむ」と仰せらるれば、御格子<sup>みこうし</sup>上げさせて、御簾<sup>みす</sup>を高く上げたれば、笑はせたまふ。
- ③ 夫れ往生極楽の教行は、濁世<sup>じよくせ</sup>末代の目足成り。道俗貴賤、誰か帰せざるものあらむや。ただし、顯密の教法は、其の文<sup>もん</sup>、一にあらず。事理<sup>ごうりん</sup>の業因<sup>ご</sup>、其の行<sup>こ</sup>惟れ多し。
- ④ 筑前国怡土郡に襲来し、志摩・早良等の郡を経て、人物を奪い、民宅を焼く。その賊徒<sup>さくど</sup>の船は、或いは長さ十二箇尋、或いは八九尋、一船<sup>かいかい</sup>の楫<sup>ばか</sup>は三四十許り、乗る所は五六<sup>エ</sup>十人、二三十<sup>かがや</sup>人、刃を耀かして奔騰す。次に弓矢を帶し楯を負う者七八十人許り、相従うこと此の如し。
- ⑤ 二月に、春日の使に立ちたまふ。殿のはじめたる初事に思されて、いとみじういそぎたたせたまふ<sup>ことわり</sup>も理なり。よろづにかひがひしき御有様なり。

問1 下線部ア～オに関する問いに答えよ。

ア 和歌を記すなど、平安時代に広く用いられるようになったのは何文字か書け。

イ この表現は、平安時代の文学に影響を与えた中国の白居易による漢詩をふまえたものである。日本からも使節が送られていた白居易の時代の中国の国名を書け。

ウ これは、顯教と密教を合わせた仏教全体を意味する言葉である。平安時代初めに空海が開いた密教の宗派は何か書け。

エ これは11世紀に北部九州に来襲した異民族のことを指している。その名称を書け。

オ この人物は、13歳の長男藤原頼通が春日祭使となったため、入念にその準備を進めていた。この人物の氏名を書け。

問2 史料①～⑤に関する以下の問いに答えよ。

① これは平安時代に編纂された最初の勅撰和歌集の序文である。この和歌集の名称を書け。

② この文章は、清少納言による平安時代の代表的な随筆文学の抜粋である。その題名を書け。

③ 阿弥陀仏を信仰し、極楽往生を願う仏教の教えをなんと呼ぶか書け。

④ この文章は、当時九州に置かれ、軍事・外交、九州の内政を管轄した役所から、中央にあてて送られた報告文である。この役所の名称を書け。

⑤ 藤原頼通が建立し、世界文化遺産の構成資産ともなっている京都府宇治市にある建物は何か書け。

## 【2】 次の文章を読んで、下の問いに答えよ。

2024年1月1日に  半島で発生した地震と津波は、大きな被害をもたらした。輪島の町では、地震後に発生した火災が、江戸時代から地域の特産品となっている  の生産にも大打撃を与えた。この地震では、国指定重要文化財の上時国家住宅（輪島市）が倒壊するなど、多数の文化財にも被害が出た。日本列島の歴史では、自然災害との関わりは深いものがある。

11世紀に最初の院政をおこなった  は、自分の思い通りにならないものとして、さいころの目、比叡山の僧侶と並んで鴨川の水を挙げたと伝えられている。13世紀初めに鴨長明が記した「方丈記」も、京都を襲った水害の激しさを記していた。

自然災害は、江戸幕府の政策とも密接に関係していた。18世紀後半に政治の実権を握った老中の  は、民間の経済活動を活発にすることを目指し、株仲間を積極的に公認し、蝦夷地の開発にも興味を示して調査をおこなわせた。 が実施した下総の印旛沼・手賀沼の干拓による新田開発が失敗に終わったのは、大雨によって利根川の水があふれたことに大きな原因があった。

江戸時代には大きな火山噴火もあった。1707（宝永4）年の富士山噴火による降灰は、江戸やその東までも及んだ。1783（天明3）年には  が噴火し、その噴出物がいくつもの集落を埋め、さらに川を流れ下って、利根川の川底にたまった。その3年後に江戸にも大きな被害をもたらした利根川の洪水は、 噴火の影響で利根川の川底が浅くなり、水があふれやすくなったことが影響していた。この頃、気候不順によって飢饉が発生したこともあって、幕府や諸藩は対策に追われた。人々の不満は百姓一揆や  となって噴出した。1792（寛政4）年には九州肥前国の島原半島にある雲仙岳が噴火し、崩れた山が有明海になだれ込んで巨大津波を発生させ、対岸の肥後国を襲った。この災害による死者は約1万5千名に及び、日本史上最大の火山被害と言われる。

2024年1月の  半島地震で見られたのと同じような大規模な地盤の隆起は、1804（文化元）年に出羽国で発生した地震でも見られた。この隆起によって、文芸としての俳諧を確立したとされる  が1689（元禄2）年に訪れ、『奥の細道』に記した湾内に島々が浮かぶ名勝、象潟は陸地化し風景は一変してしまった。

1850年代には、大地震が相次いで日本列島を襲った。1854（嘉永7）年の東海・南海地震では、津波による被害も大きく、通商を求めて来日していたロシアの  の乗船ディアナ号が巻き込まれて破壊された。その翌年には、江戸やその周辺地域を大地震が襲って大きな被害をもたらした。立て続けに起こったこれらの自然災害は、幕府の統治をゆるがし、庶民が「世直し」への期待を抱くきっかけともなった。

問1 文中のA～Hの  にあてはまる語句を書け。

## A1 選

問2 下線部アのような文化財と災害の関係について述べた以下の文のうち、誤っているものを一つ選び記号を書け。

- a 奈良の東大寺大仏殿は戦乱によって二度焼失し、江戸時代に再建されたものが現存する。
- b 鹿苑寺金閣は1950（昭和25）年に放火のために焼失し、その後再建された。
- c 大坂城の天守閣は1995（平成7）年の阪神・淡路大震災によって倒壊し、その後再建された。
- d 熊本城は、2016（平成28）年の熊本地震によって石垣が損壊し、現在も修復作業が続いている。

問3 下線部イの院政についての説明として正しいものを一つ選び、記号を書け。

- a 院政の時代、摂政や関白は置かれなかった。
- b 院政をおこなった上皇は、受領出身の裕福な中下級貴族を院近臣として要職にとりたてた。
- c 後白河上皇（法皇）は一貫して平氏と対立し源氏の台頭を援助した。
- d 後鳥羽上皇は、天皇が直接政治をおこなう政治体制を実現しようとして承久の乱を起した。

問4 下線部ウの「比叡山」は、平安時代に最澄が創建した寺を指す。その寺の名は何か書け。また、1571（元亀2）年にこの寺を焼き討ちさせた武将は誰か氏名を書け。

問5 下線部エの蝦夷地に関して誤っているものを二つ選び、記号を書け。

- a 1593（文禄2）年、蠣崎慶広（松前藩の祖）が、名護屋城で豊臣秀吉に拝謁した。
- b 1789（寛政元）年、蝦夷地東部でアイヌ民族が蜂起したが、松前藩によって鎮圧された。
- c 1798（寛政10）年、幕府の命で蝦夷地を探検した近藤重蔵が、樺太北端に日本の領有を示す標柱を建てた。
- d 1800（寛政12）年、下総の伊能忠敬が、沿岸を測量するため蝦夷地を訪れた。
- e 1802（享和2）年、幕府は東蝦夷地を直轄地とし、根室でロシアとの交易を開始した。

問6 下線部オは現在のどこにあたるか。府県名を書け。

【3】 次の文章を読んで、下の問いに答えよ。

1874（明治7）年の ア A の建白書の提出で始まった自由民権運動は、1889年の B 憲法の公布と翌年の第1回衆議院議員総選挙による帝国議会の開設によって結実したといえよう。また日本は、1894（明治27）年、イギリスと日英 C 条約を結び領事裁判権の撤廃と関税自主権の一部を回復するなどの成果もあげた。そして、日清・日露戦争にも勝って、明治維新後の富国強兵・条約改正の2大課題を一応達成する成果を挙げて列強と肩を並べるまでに成長した。

強大国になった日本は、世界各地で行われていた植民地獲得競争にも参加していった。1914（大正3）年、欧州で総力戦となった D が勃発したが、日本は日露戦争前の1902（明治35）年にイギリスと結んだ E を根拠にドイツに宣戦布告した。日本は、海軍を派遣して参戦する一方、ドイツが拠点としていた中国の F および赤道以北の南洋諸島を占領し、欧州戦争の結果戦勝国となった。日本経済は、この戦争中に輸出が大きく伸びて好景気となり債務国から債権国へと変貌を遂げた。しかし戦後は好景気が一転して戦後恐慌となり、1923（大正12）年の相模トラフを震源とする G では、10万人を超える死者・行方不明者を出して、人口が集中する大都市の弱点を浮き彫りにした。

問1 文中の A～G の  にあてはまる語句を書け。

問2 下線部 ア～クに関する問いに答えよ。

ア 明治六年の政変で失脚し、土佐に立志社を設立して、このような運動を進めた人物の氏名を書け。

イ この選挙では政府系勢力の吏党が負け、立憲自由党や立憲改進黨などの旧民権派の党が大勝した。吏党に対して旧民権派の党を何と称したか書け。

ウ この戦争を終結させた条約名を書け。

エ 日清戦争の賠償金の一部をあてて、現在の北九州市に設立された官営の製鉄所の名称を書け。

オ 日露戦争の結果、日本は朝鮮の外交権をとりあげて統監府を設置し支配権を強めた。初代統監になった人物の氏名を書け。

カ この戦争の最中に新型インフルエンザが大流行し、大勢の犠牲者を出した。戦争中の報道規制のため、当時中立国の名前をとって何風邪と呼ばれたか書け。

キ このような景気を何というか書け。

ク 震災復興のプロセスの中で、一挙に銀行預金の取り付け騒ぎが起きて、多くの銀行が休業や倒産に追い込まれ、台湾銀行は経営危機に陥った。この一連のできごとを何というか書け。

## A1 選

### 【4】 次の文章を読んで、下の問いに答えよ。

1952（昭和27）年4月にサンフランシスコ平和条約が発効して、6年8カ月にわたる占領が終結し、日本は独立国としての主権を回復した。間接統治の占領下では、治安取締りはほとんどポツダム政令（勅令）によって行われていたため、平和条約締結の動きが具体化する1951年3月ころから、自由党の吉田茂内閣は、活発化した労働運動や社会運動をおさえるための法整備に着手した。平和条約発効後の1952年7月、暴力主義的破壊活動の規制を目指す  を成立させ、その調査機関として公安調査庁を設置した。また、平和条約の発効とともに、警察予備隊は保安隊に改組され、海上警備隊が新設されたが、アメリカの再軍備要求はさらに強まり、吉田内閣はさらなる防衛協力の実施に踏みきった。1954（昭和29）年に  協定が締結され、日本はアメリカから兵器や農産物などの援助を受けるかわりに防衛力の増強を義務づけられ、同年7月、新設された防衛庁の下に、保安隊・警備隊を統合して、陸上・海上・航空からなる  を発足させた。同年には  を廃止し、警察庁指揮下の都道府県警察からなる国家警察に一本化して、警察組織の中央集権化をはかった。

日本社会党や日本共産党、 をはじめとする労働組合などの革新勢力は、こうした吉田内閣の動きを占領期の改革の成果を否定する「逆コース」ととらえ、積極的な反対運動を展開した。とくに、アメリカ軍基地反対闘争、第五福竜丸事件を契機とする  運動などが全国で盛り上がりを見せた。

また、平和条約発効以前から、・石橋湛山らの公職追放が解除され、有力政治家が政界に復帰して、自由党内でも吉田首相に反発する勢力が増大した。1954年11月、造船疑獄事件で吉田内閣批判が強まるなか、 から自由党反吉田派は離党して日本民主党を結成し、 が総裁となった。12月7日に吉田内閣は総辞職した。しかし、この時点では吉田茂の後継者、緒方竹虎総裁の自由党はなお第一党であり、左右に分かれた社会党は、自由党政権の継続を阻止するため、 の首相推挙にふみきった。協力の条件は早期解散・総選挙の実施であった。9日に  は衆・参両院で内閣総理大臣に指名され、翌10日  内閣が成立した。新内閣は、憲法改正・再軍備と対共産圏外交の推進を政策目標として掲げた。これに対し、両社会党は憲法改正阻止を最大の争点として総選挙に臨んだ。

1955（昭和30）年2月の総選挙で、社会党は左右両派あわせて改憲阻止に必要な3分の1の議席を確保し、10月には両派の統一を実現した。保守陣営でも、財界の強い要望を背景に、11月に日本民主党と自由党が合同して  を結成し、初代総裁に  が選出された。ここに保守一党優位のもとでの保革対立という政治体制が成立し、1993（平成5）年まで  政権が続くことになった。

保守合同後の第3次  内閣は、防衛力増強（再軍備）を推進するために国防会議を発足させ、憲法改正をとなえて憲法調査会を設置した。その一方で「自主外交」をかかげて、 内の反対を押し切り、1956（昭和31）年10月には首相自らモスクワを訪れ、 に調印して国交を回復した。それを受けて、同年12月に日本の国際連合加盟が実現した。

問1 文中のA～Iのにあてはまる語句（人名は氏名）を書け。

問2 下線部の政治体制を何というか書け。